

また、今後の一人1台端末の更新に関わる費用負担の在り方については、利活用を強力に推進するとともに、地方自治体や関係者の意見なども聞きながら検討するとしています。

▼令和5年度学校のICT化に向けた環境整備に係る地方財政措置について

https://www.mext.go.jp/content/20230124-mxt_shuukyo01-000003278_001.pdf

◇◆ トピックス (2)

情報処理推進機構「情報セキュリティ10大脅威2023」を公表

.....◆◇

情報処理推進機構（IPA）は1月25日、「情報セキュリティ10大脅威2023」を公表しました。

これは、2022年に起きた情報セキュリティに関する事案のうち、社会的に影響が大きかったと考えられる脅威をIPAが選出し、「個人への被害」と「組織への被害」に対する10の脅威を、有識者など約200名が決定したものです。

「個人への被害」では、「フィッシングによる個人情報等の詐取」が2年連続で1位になりました。

実在の公的機関などを装い、メールでフィッシングサイトへ誘導し、パスワードなどの個人情報を入力させます。

教職員や学生のメールアドレスの乗っ取りに注意が必要です。

「組織への被害」では、3年連続で「ランサムウェアによる被害」が1位になりました。

ランサムウェアの感染経路は多岐に渡るため、ウイルス対策、不正アクセス対策、脆弱性対策などの基本的な対策を、確実かつ多層的に適用することが重要です。

教育現場で、安全にICT環境整備を推進するためには、教職員に対してセキュリティ研修を定期的に行うなど、対策をしていく必要があります。

IPAは、さまざまな脅威に共通する対策をまとめて具体的に解説する「共通対策」を、2月下旬頃に公開する予定です。

▼プレス発表「情報セキュリティ10大脅威2023」を決定

<https://www.ipa.go.jp/about/press/20230125.html>

※以下の参考サイトをもとに、学校、公的教育機関、関連組織で発生した情報セキュリティ事故の内訳と概要を掲載しております。事故の詳細は、上記に記載されている項目を検索するなどして、ご確認をお願いいたします。

参考サイト：

NHK NEWS WEB／中国新聞デジタル／大阪市ホームページ／東京都教育委員会ホームページ／サイバーセキュリティ.com／あなたの静岡新聞／Yahoo!ニュース／読売新聞オンライン／河北新報 ONLINE NEWS／Security NEXT／ニュースサイト「毎日新聞」／赤穂市公式ホームページ／横浜市ウェブサイト／ScanNetSecurity／八代市公式ホームページ／名古屋市公式ウェブサイト／ITmedia NEWS／Yahoo!ニュース など

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

□【3】 学校 ICT・セキュリティコラム

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

◆GIGA で変わってきた学校の姿 ～校務改善から考える ICT 活用～◆

横浜市立仏向小学校 主幹教諭 東森清仁

昨年、「教育・学びの未来を創造する教育長・校長プラットフォーム（<https://www.schoolplatform.org/>）神奈川本部」で、GIGA 前後で教務主任として学校現場をどのように変革したのかをお話しさせていただきました。今回はその内容を簡単にまとめ、皆さまにお伝えできればと思います。

【事前アンケートから】

「やらなければいけないことが多すぎる」

「これまでの学び方の限界を感じている」

「前年度踏襲主義が強すぎる」

参加者の事前アンケートからは、GIGA 端末の導入に伴い、学校が新しいものを受け入れていく中での混乱や困り感が読み取れました。

こちらのコラムを読んでいるような方は当然 ICT 活用に積極的で堪能な方々であると思いますが、教務主任という立場では、上記のような声に耳を傾けながらどのように学校全体にスムーズに ICT 活用の道筋を立てていくのかが非常に大切になります。

そこで、本校ではコロナ禍の中での業務改善を通して ICT 活用を自然な形で校務に取り組み、職員全体の ICT 活用スキルを校務での OJT のようなイメージで高めていくことにしました。

【校務の ICT 化の具体例】

①職員会議はオンラインで行う

いつでもオンライン授業を行えるためには、職員がオンラインでのやり取りに慣れていた方が良いです。職員会議や打ち合わせなど、全職員が参加する会議は各自の GIGA 端末を使用し、オンラインで参加する方式に変更しました。自分の教室から参加する職員もいたり、学年担任で集まって初任者に提案内容を説明しながら参加する職員もいたり、職員会議の在り方も変わっていきました。

②資料はクラウドで共有する

上記の会議スタイルへの変更に伴い、職員会議などの資料は Google 共有ドライブに保存することにしました。資料を GIGA 端末から閲覧できることで、これまで職員室から持ち出す際には印刷しなくてはいけなかったもの（例えば、行事予定や避難訓練用資料など）も GIGA 端末で直接閲覧できるようになりました。逆に、活用が進んでいくに伴い「GIGA 端末を持ち歩かないと仕事にならない」という状況が生まれ、職員の ICT スキルの獲得・向上へとつながっていきました。

③行事予定は常に最新版を共有

資料をクラウドで共有するのに伴い、職員から非常に高評価をいただくようになったのが先にも述べた行事予定の共有です。行事予定については Google スプレッドシートで作成し、そのまま共有しているために行事予定の変更が即座に職員に共有され、予定の取り違えが格段に減りました。従来のように各自の手帳に予定を書き写したり、印刷して持ち歩いたりするとその都度書き直し、更新する手間も発生してしまいます。クラウドの活用は職員の業務負担の軽減にもつながったのではないのでしょうか。

【学校行事の ICT 化の具体例】

①学校説明会は YouTube 配信で行う

学校説明会は YouTube 配信のみの開催と変更しました。今年度の実績数としては児童数約 550 名に対し、視聴数が 600 回を超えています。対面で行うよりも、より多くの家庭に学校の方針をお伝えすることができるようになりました。

②朝会は校長室からの配信で各教室に

横浜市では定期的に全校朝会を行う習慣があります。本校では体育館や校庭に全校児童が集ることを取りやめ、校長室からの配信に変更しました。この変更によって朝の支度の時間に余裕が生まれ、児童も落ち着いて自分の席で話を聞くことができるようになりました。家庭の事情などで登校が遅れがちな児童や、朝の支度に時間が必要な児童などに対してはとりわけ有効な支援の一つの形だと考えられます。

【最後に】

校務で ICT を活用することは、変容を受け入れる学校風土を養うことにもつながります。

そして、活用の中で教職員の中にも「GIGA 端末って便利だな」という意識が生まれ、

心理的なハードルが下がることで授業での活用にもつながりました。

学校教職員は基本的にはクリエイティブでやる気のある方が多いです。

その気持ちにしっかりと応えながら、学校の変容を目指していくことが大切なのではないでしょうか。

皆さまの学校での取り組みを心から応援しています。

◆ 執筆者プロフィール ◆

横浜市立仏向小学校 主幹教諭 東森 清仁

NHK 番組委員「ストレッチマン・ゴールド」「キキとカンリ」

全国放送教育研究会連盟事務局 全国ブロック担当部長

横浜市小学校情報教育研究会 総務部長

横浜市小学校教育研究会 GIGA スクール推進プロジェクト委員

▽ 学校 ICT に精通した先生方の書き下ろしコラム

>> <https://school-security.jp/column/>

……◆◆ 【最新版】「個人情報漏えい事故の発生状況調査報告書」を公開 ◆◆……

ISEN では、11 月 18 日に「令和 3 年度 学校・教育機関における個人情報漏えい事故の発生状況」調査報告書（第 2 版）を Web 公開しました。

>> https://school-security.jp/leak_all/

<事務局>

教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会（ISEN）

〒105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5 浜松町スクエア 2 階（株式会社 JMC 内）

<https://school-security.jp/>

▽「教育の情報化や学校情報セキュリティ対策」にご興味をお持ちの方が
いらっしゃいましたら、本メールマガジンをご紹介ください。

メルマガ登録フォーム：<https://fs220.xbit.jp/y592/form2>

▽ 個人情報の取り扱いは下記リンクをご参照ください。

<https://school-security.jp/privacy>

▽ お問い合わせ・配信停止・メールアドレスの変更は、
下記フォームよりご連絡ください。
<https://fs220.xbit.jp/y592/form3>